

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 10:00～午後 3:00

No.304 2023年3月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086

発行責任者 池田 充
編集 坂田 祐美
定価 50 円(会費に含む)

国会請願署名・募金集計

2月21日現在

病院名	全腎協	JPA	募金
県立中央	46	46	5,000
富山赤十字	13	13	8,000
横田記念	94	81	0
長谷川	0	0	0
不二越	1,290	922	30,000
元町内科	130	120	6,000
富山駅前ひまわり	48	29	3,000
城南内科	52	32	2,000
富山協立	31	31	7,600
政岡内科	157	145	24,000
済生会富山	0	0	1,000
かみいち総合	208	208	25,000
みかわ	0	0	0
うさか	23	19	3,000
厚生連高岡	840	839	52,000
高岡市民	183	182	27,000
あさなぎ	259	243	40,000
高陵	219	202	41,000
吉田内科小児科	20	20	2,000
小島	162	145	29,000
市野瀬和田内科	60	53	2,000
済生会高岡	268	260	75,000
泉が丘内科	783	792	0
氷見市民	75	62	28,000
中村記念	69	49	10,000
射水市民	40	39	0
河合内科	120	110	7,500
真生会富山	0	0	10,000
黒部市民	671	657	30,000
富山労災	76	59	30,000
坂東	87	89	15,000
厚生連滑川	0	5	12,610
あさひ総合	113	120	10,000
砺波総合	65	63	20,000
北陸中央	80	60	30,000
南砺市民	89	88	23,300
南砺中央	41	37	20,000
個人会員	192	142	15,000
合計	6,604	5,962	644,010

皆様のご尽力により上記署名・募金が集まりました。
コロナ禍等で大変な中、誠にありがとうございました。
なお今後追加分があれば次号にて報告いたします。

第54回理事会

2月12日(日)サンシップ 703号室において開かれ、理事12名(書面表決2名含む)、監事2名が出席しました。

理事会では、令和5年度事業計画(案)ならびに予算(案)などが承認され、3月19日(日)の第53回総会に付議されます。



第52次国会請願行動について

2月の事務局ニュースでもお伝えしましたように、3月に国会内集会(東京)を予定していましたが、透析患者等は感染リスクが高いことから、前回同様、郵送による請願を行うことになりました。

皆様に集めていただいた署名は3月16日(木)を目途に全腎協から各県選出紹介議員(議員会館事務所)へ送られます。



腎臓移植希望登録の更新はお済みですか



令和4年3月31日以前に腎臓移植希望登録をされた方には、日本臓器移植ネットワークから更新手続きのお知らせが届いている時期です。

書類の案内に従って令和5年3月31日(金)までに手続きを済ませてください。

返送期限までに手続きが行われない場合は、更新の意思がないものとして扱われますのでご注意ください。

あとを絶たない不透明な海外での腎移植(渡航腎移植)

日本移植学会、日本腎臓学会、日本透析医学会など5学会が共同声明

昨年 12 月 27 日、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会の 5 学会は、海外移植をめぐる共同声明を出しました。

声明および一部報道によると、臓器取引や臓器摘出のための人身取引、また貧しく弱い立場の人々から臓器を購うために海外に赴く患者など、数多くの事例が報告されています。

日本のみならず、どの国においても臓器提供数が足りないために、裕福な国の人から貧困な国の人から臓器を買うために渡航し、移植を受けることが国際的に問題となっていました。

そのような状況を受け 2008 年、日本を含む世界 65 カ国が加盟する国際移植学会は、移植臓器を自国で確保するようにと努力を呼びかけた「臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言」(以下イスタンブール宣言)を採択しました。

今回の声明には、このイスタンブール宣言をすでに承認している日本移植学会の他、新たに 4 学会が共同で承認したことを表明することによって、医療関係者および患者に、あとを絶たない海外での臓器の搾取や不公平な移植は、法的・倫理的な問題が多いことを改めて周知させたいという意図があります。

【参考】

- イスタンブール宣言 2018 5 学会共同宣言
(<http://www.asas.or.jp/jst/news/doc/20230106.pdf>)
- 臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言(2018 年版)
(https://jsn.or.jp/medic/data/Istanbul_Declaration.2.pdf)



会報「とみじん」投稿募集

会報「とみじん」編集部では、会員さんやご家族、透析スタッフの皆様からの投稿を随時募集しています。テーマは自由で、400～800 字程度の作文を郵便または FAX、メールにてお送りください。

また、表紙の写真、絵なども募集しています。表紙については送付される前に一度本会事務局へお電話ください。皆様の投稿をお待ちしています。

池田会長 CKD 議連でスピーチ

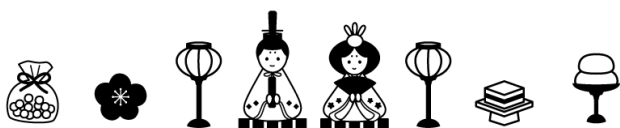
2 月 14 日(火)参議院議員会館において、「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟(CKD 議連)」の会議が開催され、全腎協として池田会長が出席しました。

会議では池田会長が、国会議員や厚生労働省担当官(約 20 名)を前に、高齢透析患者が抱える問題をテーマに介護医療院(要介護高齢者の長期療養・生活のための施設)の必要性についてスピーチしました。参加された方々は真剣に耳を傾けられ、質問なども多数あったそうです。

今後の予定

- 第 53 回総会 3/19 サンシップ
- 第 55 回理事会 4/16 富山市総合社会福祉センター
- 全腎協理事会 4/22～23 東京

※今後の状況により開催方法を変更する場合があります



おくやみ

- 魚野 紀一 殿 富山労災病院 享年 82 歳
- 木津 多子 殿 泉が丘内科クリニック 享年 69 歳

謹んでご冥福をお祈り致します